



アナタに代わって聞いてきました!

## ザ・キーマンインタビュー

2014/09/04

### タブレットの積極的な活用で“現場”の生産性向上を

人手不足は既に社会全体の問題となっているが、その中でも深刻とされているのが、建設業界における状況だ。今回は各種工事・建設資材のレンタル事業などを通じて、建設現場をサポートする立場にある日本セイフティーの方々に、建設業界全般を取り巻く問題や課題、そして、それらに対する同社での対応などについてお話を伺った。

#### 日本セイフティー株式会社

[企業サイトへ](#)



常務取締役 管理本部長

兼 システム管理部長

大内 祥史 氏

システム管理部

課長

田熊 雅弘 氏

システム管理部

主任

渡邊 和勸 氏

PROFILE

## Question

貴社では、建設現場で使用される仮設資材のレンタル事業をはじめ、各種工事・建設資材関連の幅広いビジネスを展開されていますが、そうした立場から見て、建設業に従事する顧客企業ではどのような状況にあると感じられていますでしょうか？

## Answer

最近ではやはり、慢性的な人材不足によって、どの建設現場でも人材を確保することが非常に難しくなっているという状況があります。そのため、弊社としても、「少ない人手でも安全に、効率的に設営が可能な建設資材を開発する」といったかたちで、現場の方々にサポートしていきたいと考えています。また、この業界では環境に対する意識も急速に高まっていますから、そうしたニーズにも応えつつ、次々に新しい商材を作り出していかなければなりません。



もちろん、商品を開発したら、現場の方々に営業をかけて、メリットを理解していただくことが必要なのですが、その際にも、現場の人手が足りない状況で、長々と商談をするようなことは避けるべきでしょう。なるべく短い時間で商品のイメージを伝えられれば、それだけお客様の時間の節約につながるわけですから、ビジュアルや具体的なデータを交えつつ、なるべく効率的に、分かりやすく商品説明を行う必要があると考えています。

## Question

その実現のために、スマートデバイス活用に取り組まれているということですよね？

## Answer

そうです。「SmartBiz+（スマートビズプラス）」という、いわゆるクラウド型ファイル共有サービスを導入し、これまでは紙媒体で配布していたカタログ、あるいは商品説明の写真や動画などを営業担当者がタブレット端末で紹介するという体制を整えつつあります。これまでは、新しいカタログが出来上がったら、あらかじめ各々の営業担当者が紙媒体やデータを入手しておく必要があったわけですが、「商談時にただオンラインストレージにアクセスすれば、常に最新のカタログ、あるいは写真や動画をお客様に提示できる」というスタイルのほうが間違いないですし、なにより、効率的な商談につながると感じています。

▶▶ 「とりあえず端末配布」というスタートにもかかわらず、明確なゴールが見えてきた要因とは？

## Question

営業活動だけではなく、そのほかの業務でのスマートデバイス活用も考えられているのでしょうか？

## Answer



実は、そもそものきっかけは、スマートフォンやタブレット端末などを個人で持つことが多くなる中で、仕事にも何か活用できるのではないかと声が集まり、経営層や社員から挙がっていたところから始まっており、特に具体的なゴールが見えていたわけではないのです。そのため、まずはとにかくiPadを配布し、ペーパーレス会議をやってみようというところからスタートしました。資料をオンラインで共有して、そこに互いに情報を書き込んだりといったレ

ベルではなく、ただ、数十ページに及んでいた会議資料を印刷せずに、各々のiPadで閲覧するだけだったのですが、結果としては、かなり反響がよく、部下にも持たせたいという声が広がり、それに対応するかたちで営業担当者へと配布対象を広げたという経緯です。

とりあえず端末だけ配布して、どうやって使うのかは後追いになっているという部分も多々あり、そこだけ見ると“スマートデバイス導入の失敗例”にありがちな流れのように思われるかもしれませんが、弊社の場合は、クラウド型ファイル共有サービスを採用したことで、幸いにもイメージは少しずつ固まりつつあると感じています。先ほどのカタログや動画などに加えて、現場の施工事例などもオンラインストレージに蓄積していきたいですし、現在利用しているサービスはセキュリティ面でも信頼できるものですから、将来的には閲覧だけではなく、報告書や申請・承認といった、業務処理の一部にも利用できるのではないかと思います。

## Question

モバイルワークの実現などにつなげていくということでしょうか？

## Answer

そこまで行くかどうかは分かりませんが、ちょっとしたことであれば外出先でもこなせるという環境を提供してあげることで、各社員が効率化を図れるのではないかというレベルです。実際、まだまだモバイルワークとしての環境が整った状況ではないにもかかわらず、iPad導入でデスクワークの時間が減ったという社員も少なくありません。特に地方の拠点などは規模や営業範囲も様々で、かなり便利になったという声が寄せられています。

» 「仕事は基本的に社内で済ませる」のが原則だったが…

## Question

スマートデバイスでは情報閲覧やコミュニケーションには役立っても、作業を行うのはなかなか難しいという意見もありますが、このあたりにはどういう印象をお持ちでしょうか？

## Answer

実際のところ、弊社ではこれまで、外出先でノートPCを使うといった仕事のやり方はあまり進めていませんでした。その理由の1つには、訪問する現場が決して駅から近いとは限りませんから、どうしても自動車での移動がメインになっているという点が挙げられるかと思います。そのため、移動しながら仕事はできないという部分もありますし、あとはやはりITリテラシーの問題もあるかもしれません。いずれにせよ、PCなどのITを使った作業は基本的に社内で済ませるというのが、良かれ悪かれ、弊社のワークスタイルだったわけです。



もちろん、IT活用に積極的ではないというわけではなく、社内での業務効率化については、最低限のインフラという位置づけで取り組んできましたし、社員どうしをつなぐネットワークとしての役割も重要だととらえています。ただ、社外でのIT活用に関しては、先ほどの商談をはじめとする、外部のお客様とのネットワーク構築としての利用が第一であり、段階としては、モバイルワークの実現などはその次だと見据えています。

そういう意味では、起動などに時間がかからず、手軽に使えるという点で、タブレット端末、具体的に言えば、iPadという選択肢は間違っていなかったように思います。実際、前述のとおり、iPadの業務利用は定着しつつありますし、これを基点に、社外とのネットワーク、そして、モバイルワークなどへと段階的に社外でのIT活用を広げていきたいと考えています。

- ありがとうございました。

#### 取材協力

日本セイフティー株式会社 [企業サイトへ](#)

仮囲い、ゲート、防音パネル、支保工システム、ネット・シートなど、建築、土木、解体、リニューアルなどの工事に用いる総合仮設のレンタル、及び、販売、施工を事業の柱としつつ、海洋汚濁防止事業や水を使わないポータブルトイレ事業などにも取り組んでいる。

<http://www.keyman.or.jp/at/30007181/>  
キーマンズネット 2014.09.04 より抜粋